



INCD
Israel National
Cyber Directorate



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

משרד האוצר
Ministry of Finance



ISRAEL

State of Israel
Ministry of Foreign Affairs

主催：イスラエル財務省、
共催イスラエル国家サイバー局（INCD）、イスラエル外務省

2025 Multilateral Financial-Cyber Forum



-
-  2025年9月2日（火）
 -  10:00AM – 3:00PM
 -  リーガロイヤルホテル大阪
 -  来場対象:
政府機関、金融機関、業界関係者

プログラム内容

- プレナリーセッション：イスラエルからの事例紹介と共に、複雑かつセクター横断的な危機管理戦略を発表。特に「非金融リスク（NFRs）」が金融に与える影響に焦点を当てます。
- ラウンドテーブルディスカッション：金融・サイバー分野のエコシステム全体を対象に、運用フレームワークとレジリエンス（強靱性）構築について参加者同士が議論。公共の信頼を強化し、共有オペレーション像を高めることを目的とします。

[参加申し込みはこちら >](#)



INCD
Israel National
Cyber Directorate



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

משרד האוצר
Ministry of Finance



ISRAEL

State of Israel
Ministry of Foreign Affairs

2025 Multilateral Financial-Cyber Forum

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の公式プログラムの一環として、特別イベント「多国間金融サイバーフォーラム」が大阪で開催されます。

主催はイスラエル財務省、イスラエル国家サイバー局（INCD）、およびイスラエル外務省です。

このハイレベルなフォーラムでは、「金融サイバーフォーラム」、「港湾サイバーフォーラム」という2つの主要トラックを設け、国際的な協力を促進するとともに、金融分野および広範なデジタルエコシステム全体で進むサイバーセキュリティの複雑化に対応します。

世界各国から主要な政策立案者、ステークホルダー、サイバーセキュリティの専門家が集結し、知見の共有、共通課題の検討、グローバルなサイバー・レジリエンス強化のための協働戦略を探ります。

本フォーラムの主な目的

- ・金融およびサイバー分野におけるシステミックな脅威への国際協力強化
- ・「ロー・プロバビリティ・ハイ・インパクト事象」や「ブラックスワン事象」への協働体制構築
- ・国境を越えた共通言語と枠組みの策定
- ・現実世界のシナリオ分析による潜在的なグローバル影響の評価

セッション内容

- ・最新の事例研究や、最近のインシデントから得られた教訓の共有
- ・ダイナミックで高リスクな環境における脅威管理に焦点を当てた議論
- ・「Cybertech Tokyo 2025」と連動し、東京でも国際対話を継続・発展
- ・国境を越えた連携とサイバーセキュリティの革新を推進

本フォーラムは2020年ドバイ万博で初開催され、信頼できる多国間の対話・協力プラットフォームとして発展してきました。デジタル化が加速する中、金融セクターは新たな世代の**システミック非金融リスク（NFRs）**に直面しています。

サイバー脅威や自然災害、エネルギー危機、テロリズムなど、地球規模で迅速かつ協調的な対応が求められています。

問い合わせ先:

Rahav Shalom Revivo

rahavsr@mof.gov.il | +972-54-4926447

参加申し込みはこちら >